



## タイでの事業拡大を本格化 有力現地パートナーと提携し5年で45店舗体制へ

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役社長：中村 栄輔、本社：東京都品川区）では、経済成長が著しいタイでの出店を加速します。バンコク証券取引所上場の電子部品メーカーである KCE エレクトロニクスの社長兼 CEO ピターン・オンコーシット（Pitharn Ongkosit）氏をパートナーとし、現在の8店舗から今後5年で45店舗まで拡大する計画です。

モスフードサービスは、2007年にタイ1号店を出店しました。2016年にはそれまでの現地パートナーとの関係を解消し、当社が中心となり事業を継続してきました。しかし、現在までで8店舗の営業にとどまっており大幅な成長は実現していません。今回、現地の有力経営者であるピターン・オンコーシット氏からの出資を受け入れ、新たな体制のもと出店を加速することとしました。同氏は、車載用のプリント基板（PCB）では世界有数のシェアを誇るグローバル企業の KCE エレクトロニクスで社長兼 CEO を務めるかたわら、個人事業としてもコスメブランドやアパレルブランドを多数手掛けています。特に、韓国発のコスメブランド「THE FACE SHOP」のタイ事業を買収後、短期間で急拡大させた実績を持ち、マーケティング力や店舗開発力には定評のあるタイで最も有名な若手経営者の一人です。

モスフードサービスでは、現在海外で371店舗（2019年3月末現在）を展開しています。台湾の265店舗やシンガポールの34店舗、香港の25店舗など、経済発展が進む国や地域で順調に店舗を拡大してきました。台湾での合弁事業は、台湾の大手電機メーカー・東元電機（TECO）をパートナーとして店舗を拡大しています。タイにおいても有力現地企業をバックボーンに持つパートナーとの合弁により大幅な店舗拡大を進め、アジアの幅広い地域で確固たるチェーンとして成長することを目指します。

### <概要>

- |             |                              |
|-------------|------------------------------|
| ■タイにおける事業主体 | モスフードサービス・タイランド社             |
| ■同社の株主構成    | 株式会社モスフードサービス 25.7%          |
|             | ピターン・オンコーシット氏の投資会社 74.3%     |
| ■出店計画       | 2023年度までに45店舗（2019年3月末現在8店舗） |

#### <報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社モスフードサービス 広報 IR グループ TEL. 03-5487-7371 FAX. 03-5487-7389  
<https://www.mos.co.jp/company/> E-mail. pr@mos.co.jp

#### <お客様からのお問い合わせ先>

お客様相談室 TEL. 0120-300900

(参考)

### 1. モスバーガーの海外店舗 (2019年3月末現在)

	国・地域	店舗数	初出店
1	台湾	265	1991年
2	シンガポール	34	1993年
3	香港	25	2006年
4	タイ	8	2007年
5	インドネシア	4	2008年
6	中国	15	2010年
7	オーストラリア	6	2011年
8	韓国	14	2012年
	合計	371	

### 2. KCE エレクトロニクス (KCE Electronics Public Company Limited)

バンコク証券取引所に上場している電子部品メーカー。設立は1982年。代表者はバンチャー・オンコーシット (Bancha Ongkosit)。一層、多層、両面のプリント基板 (PCB) を製造する電子部品メーカーで、車載用の PCB では世界有数のシェアを誇るグローバル企業。

(英文サイト) <http://www.kcethai.in.th/Eng/index.aspx>

### 3. タイのモスバーガー

2007年3月バンコク市繁華街にあるセントラルワールドプラザ内に1号店「セントラルワールド店」をオープンしました。

お客さまにゆったりくつろいでいただけるように、商品はテーブルまでお持ちします。また、環境に配慮しコールドドリンクはグラス、ホットドリンクは陶器で提供しています。このこだわりのスタイルで、『微笑みの国』に相応しいサービスを目指しています。



セントラルワールド店



サーモンカツバーガー